

LINE SELECTOR

LS-01

¥12,000

信号ラインの途中にそれぞれ独立した2系統の信号ラインを割り込ませ、必要に応じてそのどちらを使うか選択することのできるスイッチボックス。複数のエフェクターの効果を同時にオン/オフする場合、2系統のエフェクターを使い分ける場合、2種類のアンプや2種類の楽器を使い分ける場合など、さまざまな応用が可能。使用中のラインを表示するチャンネルインディケータが誤操作を防止します。プロフェッショナルタイプのシングルサイズPSEユニットです。



FUNCTIONS

CH SELECT FOOT SW: CH-1, CH-2のどちらの信号ラインを使用するかを決めるフットスイッチ。踏み込むたびにチャンネルが切り換わるシステムです。
CH INDICATOR (1・2): どちらの信号ラインチャンネルを使用しているかを表示するLEDインディケータです。
INPUT: ラインセレクターへの入力端子。インプットからはいった信号は、チャンネルセレクトフットスイッチによって選択された信号ラインチャンネルのSEND端子から出力されるしくみです。
OUTPUT: ラインセレクターからの出力端子。チャンネルセレクトフットスイッチによって選択された信号ラインチャンネルのRETURN端子から入力された信号が最終的に出力されるしくみです。
SEND (1・2): ラインセレクターに割り込ませる2チャンネルの信号ラインを接続。送り出し用の出力端子です。
RETURN (1・2): ラインセレクターに割り込ませる2チャンネルの信号ラインを接続。受け取り用入力端子です。

SPECIFICATIONS

入力インピーダンス: INPUT 1M Ω 、CH-1 RETURN 1M Ω 、CH-2 RETURN 1M Ω
 出力インピーダンス: OUTPUT 1k Ω 、CH-1 SEND 1k Ω 、CH-2 SEND 1k Ω
 最大入力レベル: +5dB @ 0dB = 775mV, at 250Hz
 最大出力レベル: +5dB @ 0dB = 775mV, at 250Hz
 ノイズレベル: -97dB 入力換算 @ 0dB = 775mV, 入力コード、-6dB/oct LPF 12.47kHz

周波数特性: 20Hz ~ 10kHz ± 3 dB
 ファンクション: CH SELECT FOOT SW (1/2)、CH IND (1・2)、INPUT、OUTPUT、SEND (1・2)、RETURN (1・2)
 電源: 9V乾電池 S-006P (システムボードマウント時はボード側からDC供給)
 電池寿命: 連続使用約8時間、@ HI-TOP
 寸法・重量: 70W x 56.5H x 125Dmm・420g (電池を含む)
 付属品: 9V乾電池

ELECTRONICS

ラインセレクターのLS-01の動きを簡単にご説明しましょう。LS-01は信号系に対しては2回路のスイッチボックスとして機能します。電子スイッチの採用によって切り換え時のクリックノイズを極めて小さなレベルに抑えています。図1、図2はチャンネルセレクトスイッチの切り換え動作をまとめたもの。INPUTとSEND (1・2)、OUTPUTとRETURN (1・2)の接続切り換えが同時に行なわれます。チャンネル1側にする、INPUT→CH-1 SEND、CH-1 RETURN→OUTPUTの接続状態になり、またチャンネル2側ではINPUT→CH-2 SEND、CH-2 RETURN→OUTPUTの接続状態になります。

図1 CH-1側にした場合

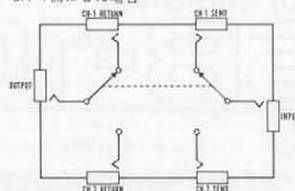
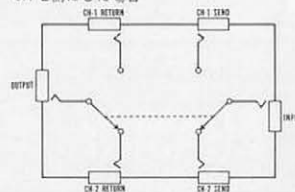


図2 CH-2側にした場合



A PIECE OF ADVICE

ラインセレクターには次のような4つの代表的利用法があります。順にご説明しましょう。
 ① 2系統の信号ラインを切り換える場合(図3)。SEND 1・2とRETURN 1・2の全部を使って、2系統の信号ラインを割り込ませ、必要に応じて切り換えることができます。ただし、CH-1とCH-2のエフェクターを同時に使用することはできませんから、十分な検討が必要です。
 ② 複数のエフェクトを同時にオン/オフする場合(図4)。片チャンネルのSENDとRETURNを直にコードで接続しておきます。各ユニッ

トのスイッチをいちいちオフにしなくてもエフェクトオフ状態の使役が得られ、便利です。
 ③ 2台のアンプを使い分ける場合(図5)。SENDを2台のアンプに、INPUTを楽器にそれぞれ接続します。アンプセッティングを変えておけばリード/サイドのサウンドチェンジに便利。この場合、RETURNとOUTPUTは使用しません。
 ④ もう1台の楽器をスタンバイさせておく場合(図6)。アンプをOUTPUT、2台の楽器をRETURNに接続。電源を入れるためINPUTにも空コードを接続します。SENDは使いません。

